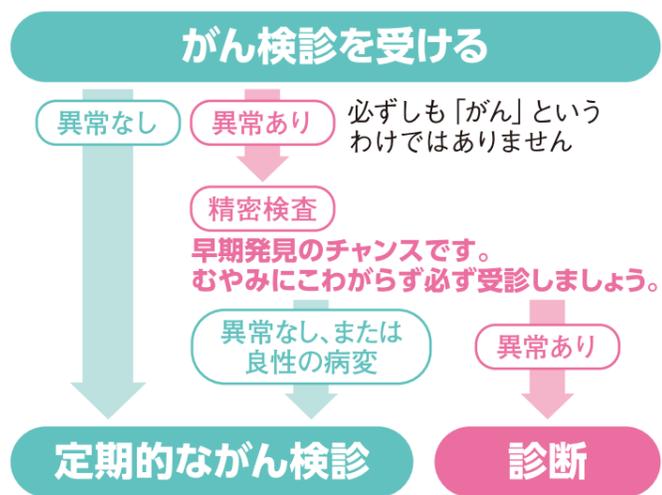


# がん検診の流れ



# がん検診を受診するには

事業所等で働いている

YES

事業所ががん検診を行っている

YES

事業所で受診しましょう

受診できなかった人は

市町村窓口にご相談しましょう

NO

NO

「検診内容」「費用」「対象年齢」などは、市町村で異なります。詳しいことは、直接職場もしくはお住まいの市町村へお問い合わせください。



## がん検診は継続が大事です！

がん検診で必ずしもがんが見つけれられるわけではなく、またがんでなくてもがん検診の結果が「要精検」となるなど、すべての検診にはデメリットがあります。しかし、国が科学的根拠に基づく「がん検診」として推奨する検診は、これらの低い確率でおこるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されています。早期発見・早期治療で大切な命を守るために、必ず定期的に受診してください。

発行・お問い合わせ

島根県 健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL.0852-22-5060

詳しい情報は [しまねのがん検診](#) 検索



# がん検診を受けてください！！

検診による早期発見・早期治療でがんは約9割が治る病気！！



島根県 健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室

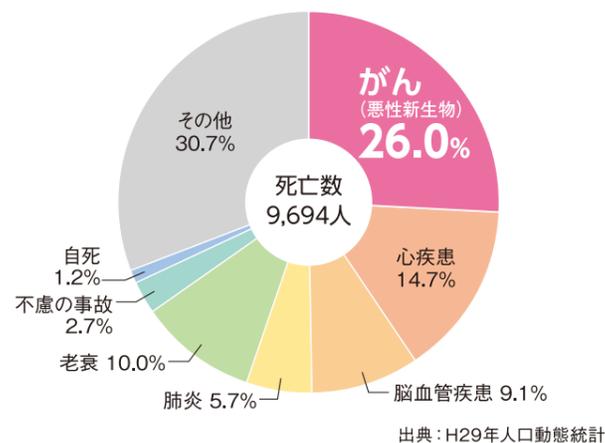
# がんはあなたの身近な問題です

島根県ではどのくらいの人のがんで亡くなっているの？

島根県のH29年における、がんによる死亡数は2,518人で、死亡原因としての割合は26.0%です。



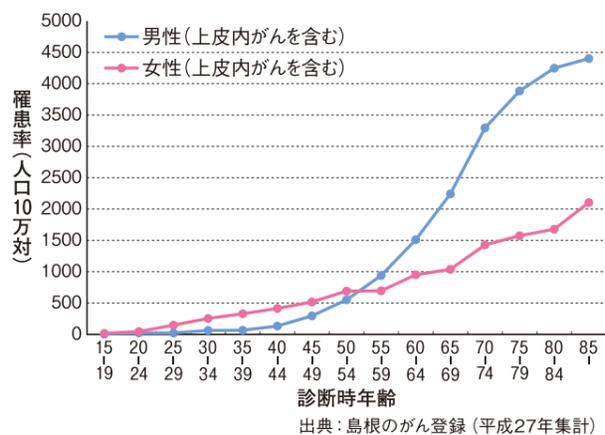
## 島根県死亡原因の割合



# がんと診断された人の約25%は働き盛り世代(20歳～64歳)です

がんのリスクは高齢になるほど高くなりますが、男性では40歳代頃、女性では20歳代頃からリスクが上がり始めます。

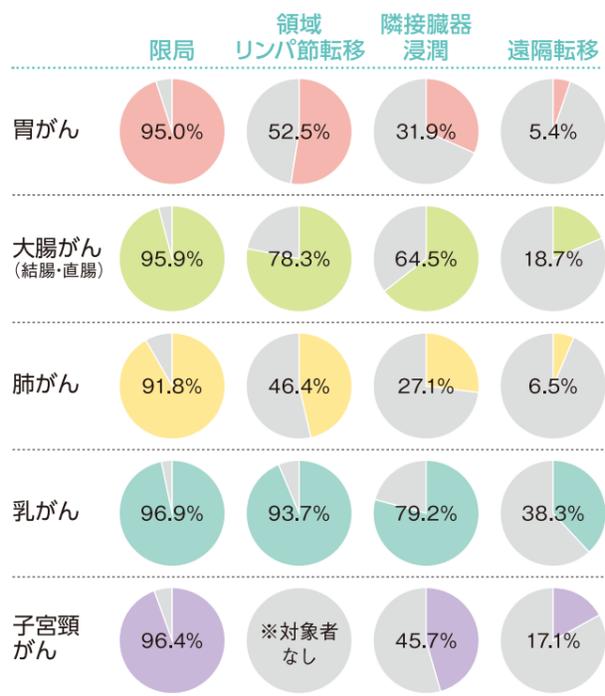
## 性別・年齢階級別がん罹患率



# がんはここまで治るようになりました

次のとおり臨床進行度別の5年後の相対生存率からもがんが早期で発見された場合、生存率が高いことが分かります。

## がんの5年生存率



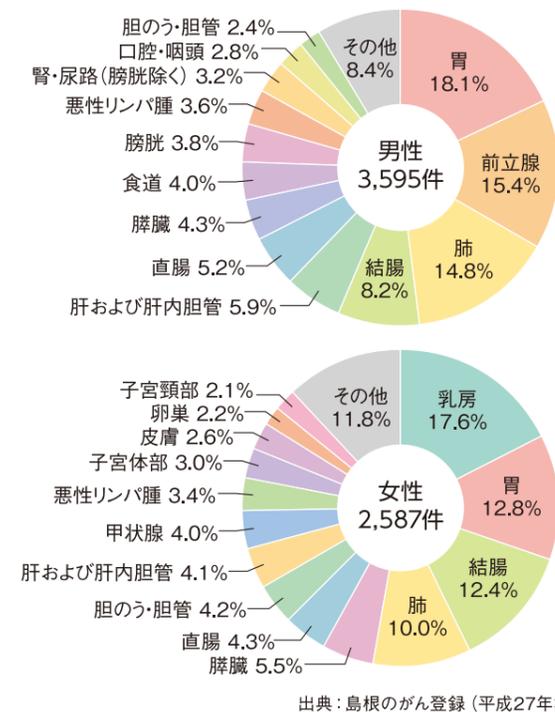
限局 …… がんが発生した臓器にとどまっている  
 領域リンパ節転移 …… がんが領域リンパ節に転移している  
 隣接臓器浸潤 …… がんが隣接する臓器に直接浸潤している  
 遠隔転移 …… がんが遠隔臓器または遠隔リンパ節に転移している

出典：島根のがん登録 (平成27年集計)

# 島根県民に多いがん

部位別がん罹患割合 (H27年に新たにがんと診断された件数の割合) では、男性は胃、前立腺、肺、大腸 (結腸・直腸)、女性では乳房、大腸 (結腸・直腸)、胃、肺の順に高くなっています。

## 部位別がん罹患割合 (上皮内がんを除く)



# 早期発見のためのがん検診

科学的な検証により、がんの死亡率を減少させる効果があると認められた国が推奨するがん検診 詳しい検査の内容はかかりつけの医師にご相談ください。

## 胃がん検診

50歳から  
受診の間隔  
2年に1回

### エックス線検査

バリウムを飲んで、体の向きを変えながらエックス線写真を撮ります。

または

### 内視鏡検査

カメラ (内視鏡) を口または鼻から挿入し、胃の様子を観察します。



精密検査が必要な場合、胃内視鏡検査等を実施します。

## 乳がん検診

40歳から  
受診の間隔  
2年に1回

### マンモグラフィ検査

専用の装置 (マンモグラフィ) により乳房をはさんでエックス線写真を撮ります。

精密検査が必要な場合、超音波検査 (エコー) 等を実施します。

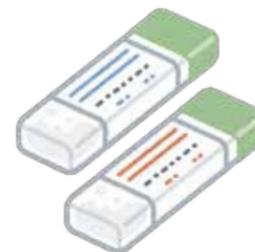


## 大腸がん検診

40歳から  
受診の間隔  
年1回

### 便潜血検査

便に血液反応があるかどうかを調べ、腸の中の出血の有無を確認する検査です。便を専用のスティックでこすり、専用の容器に入れて指定の場所に提出します。



精密検査が必要な場合、大腸内視鏡検査等を実施します。

## 肺がん検診

40歳から  
受診の間隔  
年1回

### エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影し、調べる検査です。

たばこを吸う方などリスクの高い方は、痰の検査も実施します。



### 喀痰細胞診検査

痰にがん細胞がないかどうかを調べる検査です。

精密検査が必要な場合、胸部CT検査等を実施します。

## 子宮頸がん検診

20歳から  
受診の間隔  
2年に1回

### 細胞診検査

子宮の入り口 (頸部) の細胞を専用の器具で取って、顕微鏡で診断する検査です。

精密検査が必要な場合、コルポスコプ (陰拡大鏡) と組織診断等を実施します。



気になる症状があったら  
検診を待たず  
すみやかに  
医療機関へ!

